

令和8年1月24日(土) 北海道大学学術交流会館にて

「令和7年度北海道ブロック再犯防止シンポジウム」

民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組

～ 地域と刑事司法が共生するシナジー ～ を開催しました

シンポジウムでは、行政説明、広報用動画の上映、基調講演、パネルディスカッション及び関係団体によるパネル展を実施し、関係機関、企業、居住支援法人、学生、保護司等の多くの方々に御出席いただきました。



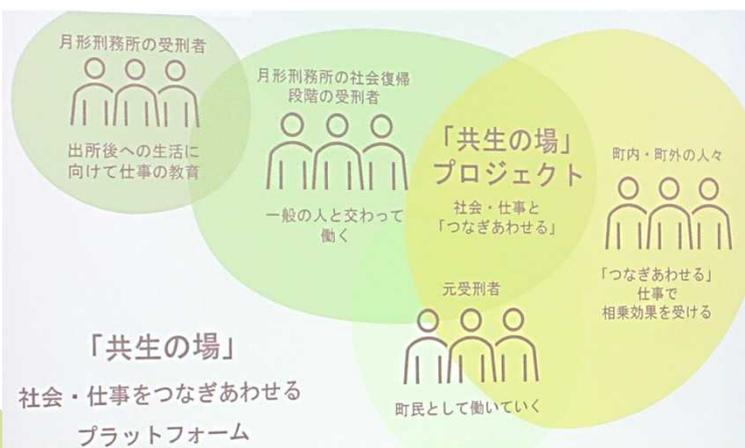
北海道ブロック in 北海道大学学術交流会館
再犯防止シンポジウム
民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組
～ 地域と刑事司法が共生するシナジー ～
開催時間 シンポジウム 午後1時30分から同4時30分まで
プレス展示等 午前11時から午後5時まで
開催済 御参加ありがとうございました

内容
 <行政説明> 「矯正における再犯防止の取組」
 <広報用動画上映>
 <基調講演> 「再犯防止×地方創生」
 (北海道芸術デザイン専門学校教員 一級建築士)
 <パネルディスカッション> 「地域と刑事司法が共生するシナジー」
 (パネリスト5名、教授・弁護士・学生等)
 <関係団体ブース展示等>

主催：法務省
 (札幌高等検察庁、北海道地方更生保護委員会、札幌法務局及び北海道矯正管区)
 共催：北海道大学 (法学研究科、同附属高等法政教育研究センター、教育学研究院)
 札幌市再犯防止ネットワーク会議



基調講演では、北海道芸術デザイン専門学校教員・一級建築士 大塚裕介様より「再犯防止×地方創生」をテーマに、月形町と刑務所が共生するためのアイデアについて、建築・デザインの視点から御講演いただきました。月形町の花、農業、空き家という地域資源と刑務所の木工・縫製等の作業を結び付けたデザインプロダクトや、刑務所の遊休地を活用した「共生の場」(出所前後の受刑者が、地域の人々と共に働き、共に関係性を築く場)を構想するプロジェクトについて御提案がありました。



パネルディスカッション

民間協力者による社会課題としての再犯防止の取組

～地域と刑事司法が共生するシナジー～



パネルディスカッション 「地域と刑事司法が共生するシナジー」

コメンテーター兼パネリスト
北海道大学法学研究科教授

小名木 明 宏 様

パネリスト

札幌弁護士会弁護士

高 野 俊太郎 様

北海道地域生活定着支援札幌センター
/札幌市再犯防止ネットワーク会議

小 松 大 記 様

北海道芸術デザイン専門学校教員
/一級建築士

大 塚 裕 介 様

北海道大学大学院法学研究科学生ゲスト

コーディネーター

北海道矯正管区総務企画部更生支援企画課長 鈴木 理 絵



パネルディスカッションでは、各パネリストから、取組や活動【北海道大学法学部の社会的貢献としての再犯防止教育への関与、札幌弁護士会における「よりよい弁護士制度」、北海道地域生活定着支援センターにおける出口支援、学生目線から見た更生保護】について御発表いただきました。出所者等が地域社会の中で孤立しないために支援者としてできることや、犯罪をした当事者自身も含め地域と刑事司法機関が協力して課題解決に当たる必要があることなど、意見を交わしました。

関係団体によるパネル展示等



会場内は多様な分野の民間協力者や自治体、刑事司法関係者等の交流も生まれました。今後も、皆様と連携し、再犯防止施策の推進に取り組んでまいりますので、御協力をお願いいたします。シンポジウムに御協力、御来場いただき、誠にありがとうございました。

本紙に関するお問い合わせ先

法務省 北海道矯正管区総務企画部更生支援企画課
〒007-0801
北海道札幌市東区東苗穂1条2丁目5番5号
TEL 011-783-5021 (直通)

月形町（地域おこし協力隊）と月形刑務所（刑務作業）の連携により完成したドライフラワーが、会場を彩りました

